

水レター「びわ湖・よど川」

2012. 2【vol. 21】
独立行政法人 水資源機構 関西支社 発行

水レター「びわ湖・よど川」は、水資源機構全体の取り組みや関西支社管内における水資源機構に関する情報、琵琶湖・淀川水系の水源地域情報を関西管内の関係者（利水者、関係府県、関係市町村及びその他の関係機関）の皆様へ直接配信させていただきます。

目 次

1. 独立行政法人の制度・組織の見直しについて（概要） 1 p
2. 維持管理業務等民間委託拡大計画について（概要） 2 p
3. 業務チャレンジコンテスト
関西支社の取り組みがグランプリを受賞！！ 4 p
4. 「独立行政法人水資源機構に関するアンケート調査」の
協力について（御礼） 4 p
5. 【報告】関西管内の行事について
・第21回やまぞえ布目ダムマラソン開催される！ 5 p
6. 編集後記 6 p

独立行政法人の制度・組織の見直しについて（概要）

政府の行政刷新会議は1月19日、現行の独立行政法人（独法）制度を抜本的に見直す「独立行政法人の制度及び組織の見直しの基本方針」を了承し、翌20日に同基本方針が閣議決定されました。

基本方針では、現在102ある独立行政法人を「成果目標達成法人」や「行政執行法人」などに移行するほか、統廃合で65以下に集約。各法人による政策実施機能の強化・効率化を図ることとされ、2014年4月の移行を目指し、現行の独法制度の根拠となっている「独立行政法人通則法」を改正するなど、必要な法改正などに取り掛かることとしています。



また、各独立行政法人について講ずべき措置として、当機構については、下記のとおりとされました。

【水資源機構】

- 行政事業型の成果目標達成法人とする。
- 利害調整や安全確保のための中核的な判断に関わる業務を除き、外部に委託又は移管し、大幅にスリム化する。スリム化に当たっては、業務の外部への委託又は移管がコスト削減に結びつくよう、類似の業務を集約するなど業務の再構築を図る。

※成果目標達成法人

- 一定の自主的・自律的裁量を有しつつ、計画的な枠組みの下で事務・事業を行うことにより、主務大臣が設定した成果目標を達成することが求められる法人。
- 成果目標達成法人は、多種多様な事務・事業を実施しており、その特性に着目し、一定の類型化を行った上で、当該類型に即したガバナンスを構築。

【研究開発型、金融業務型、文化振興型、大学連携型、国際業務型、人材育成型、行政事業型に類型化】

☆なお、詳細については、下記のホームページアドレスから参照することが出来ます。

基本方針：http://www.cao.go.jp/gyouseisasshin/contents/03/pdf/120120_khoshin.pdf

概要：<http://www.cao.go.jp/sasshin/kaigi/honkaigi/d24/pdf/s4-1.pdf>

維持管理業務等民間委託拡大計画について（概要）

水資源機構では、「独立行政法人水資源機構維持管理業務等民間委託拡大計画」を策定しましたので、その概要についてお知らせいたします。

●水資源機構における管理事業の概要

- ・利根川・荒川水系等 7水系の51施設を維持管理。
- ・31の総合管理所、管理所等において管理事業を実施。
- ・管理に係る人員は716人（H23.4.1 現在）

●管理事業における民間委託の実施状況

- ・水資源機構は、洪水等の被害から国民の生命・財産を守る責務、上下流等の利害が対立する場において限りある資源である河川の流水を公平公正に配分する責務を、国の権限の一部代行として担っている。また、国や利水者に対して公平・中立かつ迅速な判断・調整でダムや堰等を管理・運用することにより、適切な洪水対応・配水対応を行うことに対して責任を負っている。このため、これに必要な一連の業務を一体として、責任主体である水資源機構自らが管理業務として実施する必要がある。
- ・管理業務のうち、公平・中立な判断や利害調整を伴う業務、住民の安全確保に関わる業務、関係機関との協議・連絡調整、予算管理や財産管理に係る業務、及び民間委託に係る積算・発注・契約・監督・検査・出納業務等については、機構職員が自ら実施。
- ・一方、維持・補修・更新等の工事、調査・検討のための測量業務、施設管理に係る点検業務、調査・検討・設計等のコンサル業務、及び機構職員が行う業務と日常的に調整を図りながら行う単純定型業務は、民間委託を実施。

●民間委託の拡大方策

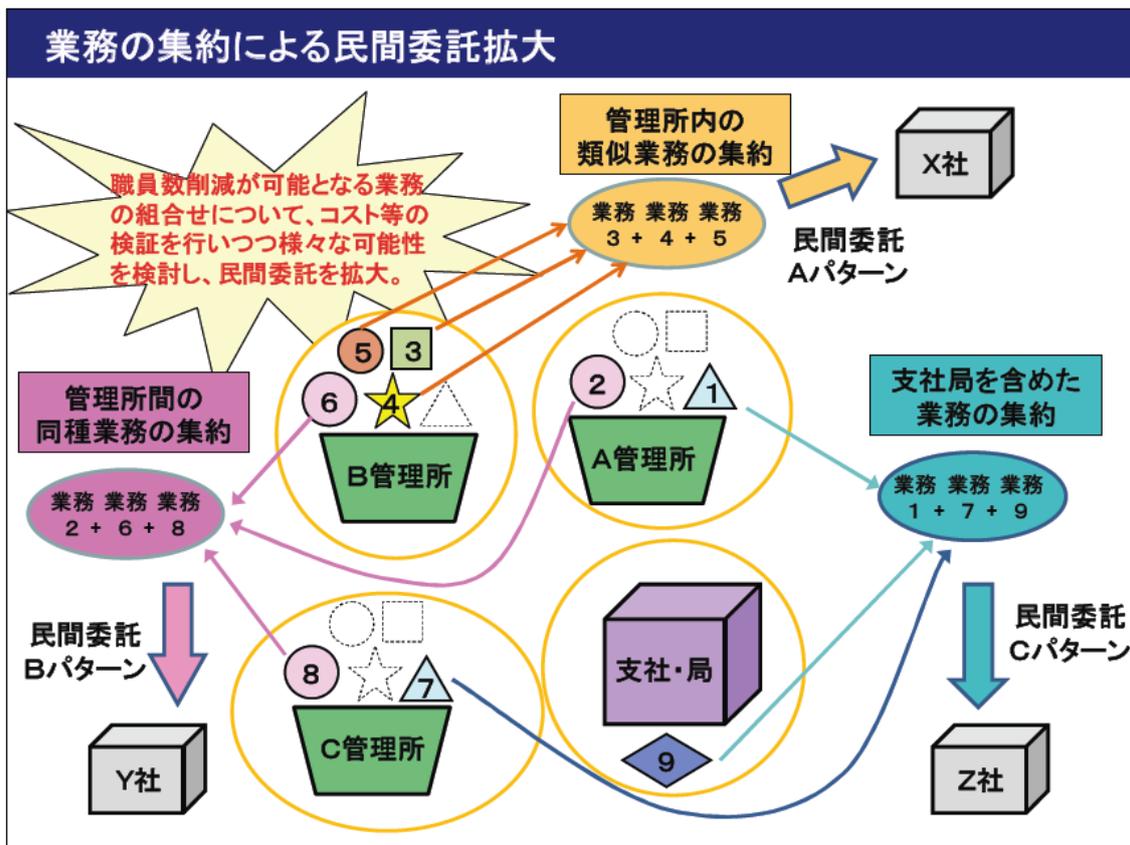
以上の状況を踏まえ、民間委託のさらなる拡大方策を検討。

① 委託拡大を図る業務の抽出

- ・現在機構職員が自ら実施している業務のうち、その一部を既に民間委託している業務については、委託範囲を可能な限り拡大。
- ・全てを機構職員が実施している業務についても、安全や利害調整に直結しない業務については、新たに民間委託を実施。

② ①で抽出した業務の委託方策の検討

- ・抽出した個別業務は、職員1人の年間業務量に対し微々たるものが多く、そのまま個別業務毎に民間委託するとコスト増を招く。
- ・民間委託化に際しては、業務を職員1人の年間業務量相当以上に集約することが必要。
- ・業務の集約方法として、次の3パターンを設定。
 - A. 管理所内の類似業務の集約
 - B. 複数の管理所間の同種業務の集約
 - C. 支社・局を含めた業務の集約



● 民間委託拡大を図る業務量の算定

- ・ 上記検討を踏まえ、民間委託拡大を図る業務量を算定すると、民間委託率は最大42%まで向上可能と見込まれる。
- ・ H13年度 約29% → H23年度 約36% → H29年度 42%

● 民間委託拡大の進め方

- ・ 上記検討を完全に行うためには、委託拡大により管理業務に支障を来たすことのないよう、実現可能性を事前に検証する必要がある。
- ・ 検証するにあたっては、「コスト比較」、「受注業者の確保」、「信頼性の確保」の観点から実施することが必要となるため、モデル地区を設定して平成24年4月より試行を開始し、データの蓄積を行う。

● 民間委託拡大の目標

- ・ 民間委託拡大に当たっては、コスト比較、受注業者の確保、信頼性の確保の観点からの検証及び類似業務の集約化等の更なる検討を行いつつ推進することから、目標の数値については増減する場合があるが、第3期中期計画の最終年次である平成29年度末までに、管理に係る業務量全体（工事関係を除く）に対する民間委託率を最大約42%（平成23年度約36%）まで拡大することを目標とする。

☆なお、詳細については、下記のホームページアドレスから参照することが出来ます。
 拡大計画 http://www.water.go.jp/honsya/honsya/news/2011/pdf/111228_itaku.pdf

「業務チャレンジ・コンテスト」

関西支社の取組みがグランプリを受賞！！

水資源機構において、業務改善に対する意識の向上・取り組みの浸透を図ることを目的として、『平成23年度業務改善チャレンジ・コンテスト』が開催されました。

今年度の業務改善チャレンジ・コンテストには、各事業所から合計66事例の応募があり、関西支社から応募した事例が、見事、グランプリを受賞しました。

今後においても、職場におけるチームワークおよび働き方を見直す意識を高め、創意工夫を行いながら日々の業務改善に努めていく所存です。

～グランプリ受賞 取組事例～

事業所	取組事例	評価内容
関西支社	仕事への取り組み方等のキャッチフレーズ(いろはカルタ)の作成及び活用	百人一首のように職員が覚えてしまいうくらい浸透することを期待する。
	支社管内全事業所文房具等調達の一括単価契約	契約上問題でなければ、支社単位でなく全社一括で採用すべき事例である。



※『いろはカルタ』は、今後発行する水レターで紹介していく予定です。

「独立行政法人水資源機構に関するアンケート調査」

の協力について (御礼)

毎年、当機構業務の実施状況に関しまして、皆様のご理解の下、アンケート調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

皆様からお寄せいただきましたご意見等につきましては、当機構の今後の業務運営に活かし、サービスの一層の向上を図る所存です。



第21回やまぞえ布目ダムマラソン開催される！

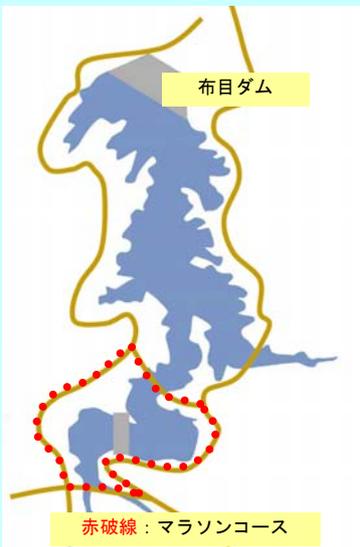
(木津川ダム総合管理所 布目ダム管理所 田村和則)

平成23年12月4日(日)に、「やまぞえ布目ダムマラソン大会」が盛大に開催されました。大会当日は、天候にも恵まれ、約800人のランナーが集いました。

大会は、3km・15km・15km駅伝の3種目で、ランナーは、布目ダム湖周辺の晩秋の景色を楽しみながら快走しました！3km競技では、山添村の全小学生・中学生をはじめ一般の方々までの幅広い層の参加があり、家族連れなどで和やかな雰囲気です。



澄み切った青空の下で走る子供たち



15km・15km駅伝の種目では、マイペースで黙々と走る選手や、タイムを気にしながら、颯爽と駆け抜ける選手の姿が見られました。

布目ダム完成を記念して始まった本大会は、今年で開催回数も21回を数え、山添村の一大イベントとなっております。マラソン会場では地元大和産の野菜や食品なども販売され、山添村の方々とふれ合うことができます。また、参加選手全員にうどんが振舞われるなど大いに賑わっていました。

布目ダム管理所では、参加選手や家族の方にパンフレットを配布し、ダムの役割などを知っていただきました。

なお、本大会には、水機構関西支社から15kmマラソンに2名、水機構木津川ダム総管からも駅伝に3チーム、15kmマラソンに1名、計15名の有志が参加し(3チームのうち1チームが布目ダム管理所チームです)、地元の皆様の声援を受け、各自精一杯で力走しました。

例年12月上旬に大会がありますので、来年は是非ご参加ください。



水機構選手一同

主催：やまぞえ布目ダムマラソン大会実行委員会
後援：布目ダム事業促進協議会、奈良市水道局、奈良県、山添村体育協会、
山添村、山添村教育委員会、木津川ダム総合管理所

編集後記



「節分の日」に、その年の恵方を向いて食べると縁起が良いとされる“恵方巻き（巻き寿司）”を食しました。

今年は、“北北西に向かって食べると良い。”とされており、私も、その方角を向きながら、食べ終わるまで無言で“無病息災”を願いながら、食らいついておりました。

巻き寿司を切らずに一本丸ごと食べるのは「縁を切らない」という意味があるらしく、「かんぴょう」「きゅうり」「伊達巻」「うなぎ」などの具材が入れているそうです。子供の頃は、巻き寿司をあまり美味しいものと感じませんでした。年齢を重ねたせいかな・・・、家内の調理技術が向上したのか・・・？わかりませんが、今年の“恵方巻き”は、美味しくいただきました。

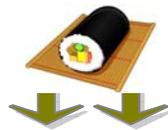
恵方巻きを食べ終わったあと、年齢相当分（〇〇個）の豆をアルコール飲料と共にいただきました。（ずいぶん、多く食べなアカンはやなあ・・・と腹を膨らませておりました。^^;）

1月下旬頃から寒波の到来で、寒さが一段と厳しくなっております。また、巷ではインフルエンザも流行っておりますが、外出後には手洗い・うがいを欠かさないよういたしましょう。



（ 利水者サービス課 『剣の道に目覚めた男』より ）

[水レター「びわ湖・よど川」に対して、ご要望・ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。（耳寄りな情報もお待ちしております。）](#)



mailto: w-kansai@msg.biglobe.ne.jp



（撮影日：平成24年2月2日）